

バイカアマチャ *Platycrater arguta* Siebold et Zucc.

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 11。日本と中国に分布する 1 属 1 種の植物で、日本では西日本に分布しており、愛知県は分布域の東限に近い。

【形態】

落葉性の低木。茎は下部から分枝し、高さ 1~2m になる。葉は対生し、長さ 1~2.5cm の柄があり、葉身は長楕円形または狭長楕円形、先は長鋭尖頭、基部はくさび型、枝の上部のものほど大きくなり、最上部のもので長さ 10~22cm、幅 3~6cm、辺縁には鋭い鋸歯があり、両面に伏毛がある。花期は 7~8 月、今年枝の先端に直径 5~10cm の集散花序をつける。装飾花は楕状につき、円形で直径 10~30mm、果期まで残存する。通常花は白色で直径 16~22mm、花弁は 4 枚で卵形、長さ 8~10mm、花後に脱落する。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (小林 46767, 1993-8-21)、2 豊根 (加藤等次 3233, 1993-7-6)、3 東栄 (芹沢 79343, 2004-8-21)、4 津具 (小林 47794, 1993-9-15)、8 鳳来北東部 (小林 33132, 1988-7-31)。県内の分布域は、ほとんど天竜川水系に限られている。

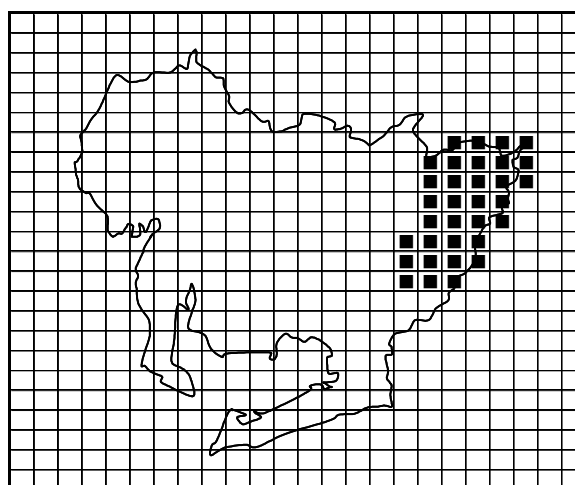
【国内の分布】

本州 (静岡県、愛知県、紀伊半島および中国地方)、四国、九州。

【世界の分布】

基準変種は日本固有。他の変種が中国大陸にある。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地林下のやや湿った斜面や崖状地などに生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

天竜川流域には比較的多いが、豊川流域では鳳来町に 2 カ所自生地があるにすぎない。そのうち 1 カ所は、大島ダムの建設により大部分が水没した。

【保全上の留意点】

道路沿いに生育しているものについては、拡幅などの際に注意を要する。

【特記事項】

和名は、葉がアマチャに似ており、花が梅のようだからである。

【関連文献】

保木本 II p.111, 平木本 I p.164, 平新版 4 p.170.